2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復師学科	科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	基礎柔道整復学・総論Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	澤　卓実	実務経験とその関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に従事)		

《授業科目における学習内容》

各組織の損傷　骨の損傷　A骨の形態と機能　骨の構造、骨損傷の概説、骨損傷の分類骨折の症状、骨折の合併症、小児骨折・高齢者骨折の特徴、骨折の癒合日数、骨折の治癒過程骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子、治療法(骨折の整復法)、固定法

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:90%
2. 小テスト:10%
3. グループワーク中の態度・発表:0%
4.授業態度と参加度:0%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学・理論編(改訂第7版:南江堂)
柔道整復学・実技編(改訂第2版:南江堂)
標準整形外科学(改訂第13版:医学書院)

《授業外における学習方法》

講義の内容確認の為、次回講義開始後、10分間を前回の講義復習時間とし、教科書、配布プリントの内容を中心に復習し、各項目ごとに小テストを実施。
学習したことを定着させる為、必ず毎回の講義範囲を復習すること。

《履修に当たっての留意点》

柔道整復学理論の基礎となる総論は最も重要視され、これからの3年間に大きな影響を与えると考えられます。
まずは骨とはなにかを構造学的に学び、骨折とななにかを理論的に学習していきたい。理論は暗記ではなく理屈を考え学んでいってほしい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の形態と機能を理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	各組織の損傷　骨の損傷　A骨の形態と機能　骨の構造①		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨損傷の概説を理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨の構造②、骨折の定義		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の分類ができる(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨損傷の概説		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の分類ができる(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨損傷の分類		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の症状を理解する(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の固有症状		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の症状を理解する(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の一般外傷症状		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の合併症を理解する(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の合併症		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の合併症を理解する(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の合併症		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児と高齢者の骨折の特徴を理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	小児骨折・高齢者骨折の特徴		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の治癒過程を理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の癒合日数／骨折の治癒過程		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	治癒に影響を与える因子を理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の整復について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折の予後と骨折の治療に影響を与える因子		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動生理学の概要について理解する(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	講義の復習と次回講義の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	運動生理学を踏まえ今までの復習を行う		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動生理学の概要について理解する(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	前期総復習を必ずしておく
		各コマにおける授業予定	運動生理学を踏まえ今までの復習を行う		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	後期講義に向けて、理解できていない部分はテキストを用いて再確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期講義内容の理解度の確認を行う		